

追加

第四陸軍技術研究所關係研究事項

第一 戦車、装甲車

研究番号	研究項目	研究要項	完成豫定年月	摘要
戦車 4 5	新砲戦車(甲) (ホリ車)	主力戦車ニ比シ強火力強装甲ノモノニ就キ 研究ス 主要諸元 全備重量 装甲(最厚部) 最大速度 主要武裝	昭和 二〇 三	(砲) (無) 100 第一次試作 完了 昭和一九八
	無線 乙ニ代リ甲ヲ裝載スル場合ヲモ研究ス ルモノトス	約三五屯 約一二〇耗 約四〇耗/時 十噸戰車砲(長)ヲ 固定砲塔ニ裝載ス ルモノトス 乙丙各一機		

1536

21

◎ 牽 十糧半對戰車砲	◎ 戦 七糧半砲戰車甲	◎ 戦 戰車水際場陸方 式ノ研究	◎ 56 及 55 戦 驅逐戰車
第二 牽引車、裝軌貨車、特殊牽引車	試製一式七糧半自走砲ヲ對戰車火力中 核タラシムル如ク改修スルモノトス	先ヅ九五式輕戰車ヲ就キ特ニ式水陸戰車ト 全一方式ニ依リ浮力ヲ補ヒ漕舟機ヲ以テ自走 シ得ルモノニ就キ研究ス	一般戰車ニ比シ地障踏破能力著シク優秀ニ シテ而モ戰場速度大低姿勢ナルモノニ就キ 研究ス 主要諸元 全備重量 約八屯 主要武裝 七五耗短(固定)「 彈及榴彈 噴進爆雷 裝甲(最厚部) 約二〇耗 濕地通過性能 徒歩兵辛ウシテ通過シ得ル濕地ヲ行動 シ得ルモノ
昭和 二〇三 (砲 99)	昭和 一八一末 援研ト協力 自走砲ト別 箇ニ整備ス	昭和 一八一二 三技研ト協 力	昭和 二〇三 (砲 103 近 15)

◎ 52 機	◎ 12 機	◎ 50 機	◎ 35 車
船用機関	燃料噴射電氣點火機関	戦車用大型ガソリン發動機	自走式二〇耗對空機関砲車台
主トシテ用ニ適スルモノニ就キ研究ス	車輛用燃料噴射電氣點火機関ニ就キ研究ス 尙車輛用以外ノ用途ニ就キテモ併セテ検討スルモノトス	新中戦車(乙)及〇〇戦車用トシテ既製ノ發動機ヲ戦車用ニ適スル如ク研究ス 最大出力約五〇〇馬力	
昭和 二〇 三	昭和 二〇 八	昭和 一九 八	昭和 一八 二
	七技研ニ於ケル利用スルモノトス 七技研ト協力		(銃 21)

第四 機関、電装品

修正

第一 戦車、装甲車

研究 番号	項目	研究 要 項	完成 豫定 年月	摘 要
戦	新中戦車(甲) (チト車)	「チヘ」車ニ比シ装甲並武装ヲ強化シ且大 量生産ニ適スルモノニ就キ研究 主要諸元 全備重量 約二五屯 装甲(最厚部) 約七五耗 最大速度 約四〇耗/時 主要武装 五七耗(長) 無線 乙丙各一機 乙ニ代リ甲ヲ装載スル場合ヲモ研究 スルモノトス	昭和 二〇 三 第一次試 作完了 昭和 一九 六	(砲 九) (無 四)
◎	「チト」車ニ比シ更ニ強火力ノモノニ就キ 研究ス 主要諸元 全備重量 三五屯以下 装甲(最厚部) 約七五耗		昭和 二〇 三 第一次試	(砲 102)

1539

23

◎		◎		◎	
11 機		16 牽		5 2 戦	1 4
機 動機 戦車用大馬力發		裝 甲 兵 車	第 二	各種裝甲車々台	新中戦車(乙) (チリ車)
戦車用トシテ最大出力八〇〇馬力以上ノモ ノニ就キ研究ス	第四 機 関 電 装 品	牽引車、裝軌貨車、特殊牽引車 半裝軌式ニ就キ⑤各部採用ニ適スル如ク研 究ス		8 裝甲作業車 4 化 兵 車 ヲ削除ス	最大速度 約四〇浬/時 主要武裝 七五耗(長) 對空防護並副武裝ヲ強化スルモノトス 無 線 乙丙各一機 乙ニ代リ甲ヲ裝載スル場合ヲモ研究 スルモノトス
昭和 二〇 八		昭和 一八一 二			作完了 昭和 一九 八
					(無 49)

削
除

第一 砲車、裝甲車

研究 區分	番号	項目	要 要	完成 年 月 日	摘 要
◎	39 戦	新 指 揮 砲 車			
◎	41 戦	新 砲 車 (乙) (ホチ車)			
◎	40 戦	直 協 砲 車			
◎	10 戦	新 水 陸 砲 車 (スニ車)			
◎	11 戦	裝 甲 工 作 車 (舊 力 作 砲 車)			
◎	47 戦	新 目 走 砲 車 台			

1541

24

◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
目	22 牽	20 牽	14 牽	5 牽	戰	戰
目動列車	牽引車濕地通過 用裝置ノ研究	目走式五十七耗 對軌車拖車台	重被牽引車	裝軌貨車	戰車對空防禦ノ 研究	戰車濕地通過用 裝置
第三 乘用車 自動貨車						
第二 牽引車、裝軌貨車、特殊牽引車						

◎	◎	第四 機関、電装品	◎	◎
36 機	46 機		19 自	18 自
シリンダー （舊可變壓縮比） 機関 代用燃料車専用	水陸戦車用空冷 ガソリン發動機		／研究 濕地通過用履帯	軌道走行装置／ 研究